

2. 指標設定

成果指標	指標名	自殺者数の減少 (H21年度実数13名)		目標年度	指標の設定理由			
	数値	—			豊後大野市は自殺者が多いため対策の強化を行う			
活動指標	指標	a	ゲートキーパー受講者数	b	フォーラム・講演会回数	c	遺族支援実施率	d
	数値	目標	450人	目標	33回	目標	80%	目標

3. 実績（上段・実績／下段・達成率）

成果指標名	単位	H20	H21	H22
自殺者数の減少 (H21年度実数13名)	人	19.0	13.0	19.0
	%		△ 31.6	38.5

活動指標名	単位	H20	H21	H22
a	ゲートキーパー受講者数	人		91 人
				20.0 %
b	フォーラム・講演会回数	回		8 回
				24.0 %
c	遺族支援実施率	%		50% %
				62.5 %
d				

4. 課題と対応

課題
依然として自殺者が多い状況である
対応（改善点等）
地域毎で仲間づくりフォーラム等を行い、市の状況を周知するとともにネットワークの充実を図る

5. 事業費・・・H20～H22（決算額）、H23（予算現額）

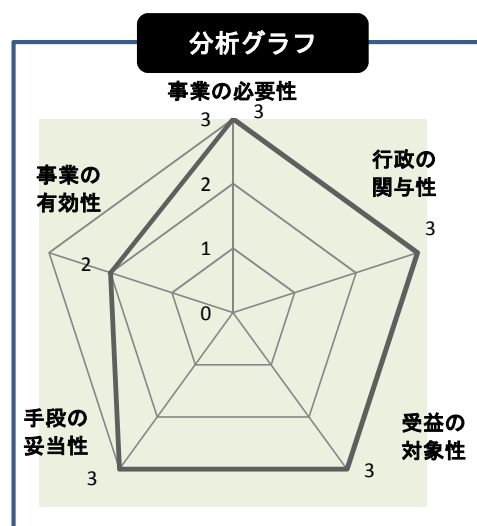
決算額（千円）		H20	H21	H22	H23
うち経常経費			222	1,883	4,507
財源内訳	国費				
	県費		201	1,836	4,117
	市債				
	その他				300
	一般財源		21	47	90
うち経常					
事業費に係る人件費			4,267	4,380	4,300

6. H24年度予算の方向性

方向性
減額
理由
23年度において集中的に事業を実施するため

7. 担当課による分析

着眼点	分析	分析根拠
① 事業の必要性	必要性の再確認	3 市の重要な課題であるため
② 行政の関与性	責任領域の精査	3 民間の組織が多数立ち上がるまで、市が主体的に取り組む必要がある
③ 受益の対象性	事業対象の確認	3 市民全体が対象となる
④ 手段の妥当性	活動指標の分析	3 目的達成のため適切な手段である
⑤ 事業の有効性	成果指標の判断	2 具体的な取組み初年度のため



8. 内部評価委員会評価（委員会評価）

事業の方向性	評価内容
継続	所期の目的達成に向け、効率ある予算執行に努めること